



## RSウイルスに注意しましょう！

秋から冬にかけて多くなる「RSウイルス感染症」。感染力が強く、2歳までにほぼ100%感染するとも言われます。年長時は、それほどひどくありませんが、年齢が低いほど重症化しやすく、呼吸困難になったり、気管支炎、細気管支炎、肺炎などの合併症を起こしたりすることもあるので「風邪かな」と感じたら、早めに病院受診をしましょう。

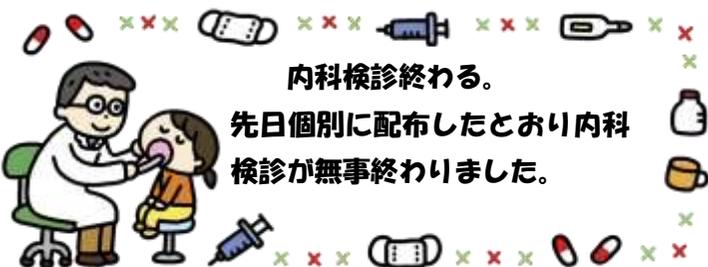
<症状> 38～39度の高熱  
 セイセイという呼吸音  
 激しい咳（夜咳き込んで起きてしまう）  
 鼻水

<こんなときは急いで病院へ>

- \* ひどく咳き込んで唇や顔色が悪い
- \* 息をすると胸の上部がぺこぺこする
- \* 肩を大きく上下させて息をする
- \* 呼吸が荒く、顔や手足が冷たい
- \* 呼吸が速く、息をするとき鼻の穴が広がる

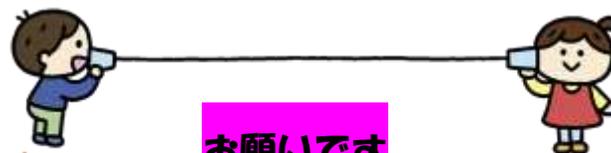
<咳がひどいときは>

- ・ 体を起こすか、たて抱きにして背中をさする
- ・ 室温は上げすぎず、加湿をする。  
 （ぬれタオルを部屋に干しておくのも効果があります。）
- ・ 水分を少しずつゆっくり飲ませる。



寒さが一日ごとに深まり、冬らしくなってきました。例年より遅いですが、初雪のたよりもきかれましました。暖房を使用する機会が増えてきました。空気が乾燥するとインフルエンザなどの感染症が流行し始めます。適度に過湿、換気をしながら、過ごしていきたいですね。

感染対策としてのマスクの着用、手洗い・うがいの励行も引き続きよろしくお願いいたします。



発熱や怪我等で保育園から緊急で連絡を取る場合があります。お休み等でお出かけになる場合などいつもと連絡先が変わる場合は必ず連絡帳等でお知らせください。



## クループ症候群

クループ症候群は、いわゆるのどのかぜ。冬に多い子どもの病気です。かぜの症状に似ていますが、ひどくなるとのどがはれて、呼吸困難を起こすことも。「ただのかぜかな」と思っても、早めに病院で診てもらってください。

### 症状

- のどの痛み
- ケンケンという甲高く犬がほえるようなせき
- 声のかすれ
- 息を吸うとヒューヒューという音がする

### ケア

早めに受診し、かぜと同じケアを。せき対策には、部屋の湿度を保ち、水分をこまめに十分にとること。



夜間にせきがひどくなることがあるので注意！ 苦しそうなときは、夜中でも急いで受診してください。



3日（金）乳幼児健康診査

9日（木）3歳児健診

13（月）2歳6ヶ月児相談

17日（金）ことほの相談

12月の乳幼児健康診査

詳しくは広報しずくいしで確認のうえお出かけください。

